

創立146周年

学校だより



# は南風の子

中種子町立  
南界小学校

令和元年6月20日

南界小学校に伝わるもの、受け継いでいくもの

校長 吉留 巧

6月の全校朝会では子供たちに、節目の創立150周年が近づいたこと、町の文化財でもある旧校門など学校の宝として引き継いでもらいたいという思いを込めて南界小学校の歴史について話をしました。



創立は、明治26年(146年前) 南界尋常小学校として開校。2学級95名の在籍(写真は昭和55年に撮影)



旧校門 明治32年(120年前)から昭和32年まで約60年間、児童を見守る。(町文化財)



大ソテツ 大正2年(106年前)古市キヨ氏よりソテツ1本貰い受け移植。「伸びろ伸びろ」と校歌の2番に歌われる。



釣り鐘堂 昭和3年6月10日(91年前)校区民の基金を投じて大梵鐘を設置。一日三回時を知らせた。昭和18年国策により献納した。(町文化財)



立志の碑 平成3年3月南界小に今村文庫の寄贈、南界園の開始など、校区に多大な貢献をされた今村源一郎先生に続けと設置した。

明治・大正・昭和・平成と各時代の遺跡等が本校には残っています。2・3年毎に子供たちに折に触れて南界小の伝統を遺跡だけでなく人々の思いを令和の時代にも伝えていくことが重要と思います。南界郷土誌等を読むと、まだまだ子どもに伝えたいことが盛りだくさんです。これからも機会を捉えて話をしていきたいと思っています。



6月14日(金)に地震を想定した「避難訓練」を実施しました。地震発生の放送で、机の下などに隠れ自分の身を守った後、避難しました。どの子どもも真剣なまなざしで一言も発することなく訓練を終えました。熊毛地区分遣所の方も子どもの避難の様子を「よくできた」と褒めていただきました。

その後、地震に備える子ども向けのDVDを視聴し、「自分の命は自分で守る」「落ち着いて行動する」ことを学びました。また、これまでの災害用備蓄という考えから、日頃利用している食料品や生活必需品を少し多めに購入して備える「日常備蓄」という考え方も教えてもらいました。



日常備蓄のプリントを、子どもたちも貰いました。御家庭で参考にしてください。

近い将来予想されている南海トラフ地震では、種子島も震度5で9mの津波が予想されています。備えあれば憂いなしです。